

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第85号
2023.8.1

8年ぶりの選挙 このメンバーでスタート!

～あなたの選んだ議員は、何を伝えたか～

箕輪町庁舎



CONTENTS

- メンバーの紹介 ……P2・3
- 6月定例会で決まったこと
補正予算・条例改正・委員会審査など
……………P4・5
- 町政のここが聞きたい!
一般質問 ……P6～19
- はじめまして議員一年生です
退任議員のあいさつ ……P20



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で! 各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

ご期待ください!!

箕輪町議会新体制で スタート!!

5月11日(木)臨時議会において正副議長選挙等が行われ、議会構成が決まりました。



議席番号15番
箕輪町議会議長
荻原 省三



少子高齢化、若者の政治離れが叫ばれる中、箕輪町議会は平均年齢57.5歳という新体制でスタートしました。時代は速いテンポで進んでおります。町民との対話を大切にしたい開かれた議会、そして町民の皆様から期待される議会として十分役割が果たせるよう全力を投じて参ります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

議席番号1番
箕輪町議会副議長
入杉百合子



箕輪町議会副議長に就任しました。町議会において、女性として初めて副議長に選任され責任の重さを痛感しています。議長の代理をする職であることを念頭におきながらも、荻原議長の驥尾に付し、議会が公正かつ円満に運営され、さらなる議会の活性化と町の発展のため全力を尽くし、新しい議会を目指し頑張ります。

知ってる?

議会のしくみ

町議会では本会議における最終的な判断を下す前に、きめ細かに案件を調査する機関として、政策分野別の審議、予算や決算に特化した審議、特別なテーマを審議するために、委員会制度が設けられています。

常任委員会

各部門に属する町の事務に関する調査や、議案・陳情等の審査を行います。町議会には、2つの常任委員会があり、議長以外の議員はそのどちらかに所属します。

総務産業 常任委員会

総務、企画振興、税務、農林、商工観光、建設、上下水道、選挙、消防などに関する事項、ほかの常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

福祉文教 常任委員会

住民環境、福祉、子育て、健康推進、学校教育、文化スポーツ、保健、衛生などに関する事項を審査します。

議会運営委員会

議会の開催日程の調整など、議会の円滑な運営のための協議を行います。

議会活動活性化委員会

開かれた議会をめざし、町民の皆さまとの意見交換会、中学生模擬議会、議会アンケートなどを実施しています。

議会広報特別委員会

議会だよりの編集・発行や、箕輪町のホームページ等にて議会に関わる情報を、町民の皆さんにお伝えします。



わたしの抱負

議員の紹介と所属委員会

よろしくお願いします



議席番号 2番 小出嶋 文雄 議員

福 監

北小河内区

元気な地域づくりから、住む人にやさしい町、元気な町づくりをめざします。



議席番号 4番 平出 広志 議員

総 副 広

北小河内区

ひとり一人が光輝く未来を描き、幸せな箕輪町づくりに挑戦します。



議席番号 6番 中村 政義 議員

福 長 運 活

松島区

初心を忘れず、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりに取り組む。



議席番号 8番 上田 学 議員

福 活 副

松島区

私は箕輪町議会議員の一員として、地域社会にとって真の価値を追求します。



議席番号 10番 金澤 幸宣 議員

総

松島区

決心すれば 風向きが変わる。その時、新たな知恵が湧き協力者も現れる。



議席番号 12番 中野 友美 議員

総 広 長

木下区

‘仕方ない’であきらめない政治。皆さまの味方で、身近な議員でいます。



議席番号 14番 寺平 秀行 議員

総 活 長

松島区

新時代到来、誰ひとり取り残さない「全世代型支援」に取り組みます。



議席番号 3番 南 朋子 議員

総 広

下古田区

箕輪のたからを守る。自然環境と素晴らしい景観を未来の子どもたちに残す。



議席番号 5番 小口 智世 議員

福 副 広

松島区

「ありのまま」が認められる町を目指して、皆さまの声を町政に反映させます。



議席番号 7番 中澤 清明 議員

総 運 長 活

沢区

箕輪の未来に向けて「誠実、迅速」をモットーに全力で議員活動いたします。



議席番号 9番 北野めぐみ 議員

福 運 副 活

福与区

小さな声を笑顔に変えて、みんなが輝く箕輪町のためにがんばります！



議席番号 11番 白鳥 真吾 議員

福 広 副

長岡区

皆様の声を届け、住民が主人公のまちづくりに取り組んでまいります。



議席番号 13番 岡田建二郎 議員

総 長 運 活

富田区

町民の皆様の切実な要望やご意見を町政に反映できるよう努めてまいります。

総 総務産業常任委員会

長 委員長

福 福祉文教常任委員会

副 副委員長

運 議会運営委員会

活 議会活動活性化委員会

監 監査委員

広 議会広報特別委員会

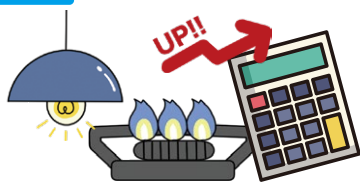
6月定例会で こんなことが決まりました

決定!

6月5日から6月19日までの会期で開催されました。一般質問には、13人の議員が登壇し町政運営を質したほか、補正予算、条例制定など15議案を原案どおり可決しました。

補正
予算

5,700万円



電力・ガス・食料品等 価格高騰緊急支援給付金

負担増の影響が大きい低所得世帯に対し、1世帯あたり3万円の現金を給付

補正
予算

132万円



病児・病後児保育施設 整備費補助金

いちごハウスのトイレ改修工事に対する一部補助

補正
予算

4,250万円



プレミアム付き応援券 販売・換金業務委託料

プレミアム付き応援券販売事業を実施

補正
予算

243万円



もみじ湖2次交通運営業務 委託料

伊那松島駅と「もみじ湖」を結ぶシャトルバスの運行

請負
契約

契約金額 5,995万円



令和5年度 若草園増築改修・三日町保育園増築工事

契約者 箕輪建設工業株式会社

条例
改正



箕輪町みのわ温泉ながた荘 条例の一部改正

ながた荘の利用時間と宿泊利用料金等の一部を改正するもの

陳情

みんなの声

賛否が分かれた審議

議長は原則として採決に加わらない。 ○→賛成 ×→反対
詳細に関しては箕輪町議会ホームページで、後日議事録を閲覧することができます。

提案の趣旨	提出者	入 杉 百 合 子	小 出 嶋 文 雄	南 朋 子	平 出 広 志	小 口 智 世	中 村 政 義	中 澤 清 明	上 田 学	北 野 め ぐ み	金 澤 幸 宣	白 鳥 真 吾	中 野 友 美	岡 田 建 二 朗	寺 平 秀 行	荻 原 省 三	結 果
国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考えるフリーランスの会 代表 阿部 伸	○	×	○	×	○	×	×	×	欠席	×	○	×	○	×	—	不採択
	【×側の意見】なし	<p>【○側の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての事業者一律に消費税を課すのは、弱い者いじめの制度。例えば400万円以下はそのまま免税事業者にするなど再考の余地がある。 現在の免税点制度は起業のハードルを下げている。産業の活性化や、男女共同参画推進の妨げにもつながる。 <p>・制度の内容について周知が不十分であり、多くの混乱を招くことが想定される。</p> <p>・「免税点制度により益税が生まれている」という誤解があるが、司法も行政も「消費税は売り上げの一部であり預り金ではない」という認識。個人事業主や零細事業者を狙い撃ちにした増税に他ならない。離農が進み、農業応援団計画への影響が必至。</p>															
消費税インボイス（適格請求書等保存方式）制度の実施延期を求める陳情書	上伊那民主商工会 会長 鈴木 正巳	「国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書」の不採択に伴う、みなし不採択。															不採択

意見

意見書の提出

可決された意見書

- ・「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書
- ・「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書
- ・介護保険制度の改善を求める意見書
- ・健康保険法等改正法の見直しを求める意見書

総務
産業

箕輪町みのわ温泉ながた荘 条例の一部改正

- Q** 今回の上限料金値上げは高付加価値化のためであるとのことだが、具体的な内容は。
- A** 料理の差別化や、魅力的な宿泊プラン等によりプレミアム化を図るもので、差別化のためのガイドラインを作成中。
- Q** 家族風呂利用料について、1,000円から2,000円への値上げは早急に行うのか。
- A** 利用者の事情もあり、振興公社で検討中。

総務
産業

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

- Q** 公用車最適台数調査業務委託の調査会社と内容は。
- A** 調査会社は丸紅。年間の利用状況を可視化して適正台数を算定、CO₂削減のための指針として参考にする。
- Q** 委託料110万円の根拠は。
- A** 実績業者の見積り価格。
- Q** もみじ湖二次交通運営業務委託料の内容について
- A** 中型バスで伊那松島駅から箕輪ダムまでの運区業務。11月ピーク時の運行予定で、飯田線の発着に合わせ往復14便を計画。
- Q** 議会事務局の会議録作成業務委託料について単年での委託か。
- A** 単年契約。次年度以降は音声装置やマイク設備の更新計画があり、その実施状況により委託するか決める。



福祉
文教

令和5年度一般会計補正予算(第2号)

- Q** 風しん抗体検査・接種の対象人数は。
- A** 昭和37年から昭和54年に生まれた方が対象で、多少の変動もあるが、3,070人になる。
- Q** みどりの資源リサイクルステーションのフェンス工事の工期は。
- A** 6月末に入札を行い、7月末から8月上旬には完成し、通常使用を目指す。
- Q** 病児・病後児保育施設整備費補助金の内容は。
- A** 上伊那生協病院に委託している病児・病後児保育施設「いちごハウス」内のトイレ増設に関する補助金。現在保育している部屋が3つあり、1つの部屋にはトイレが設置されているが、もう1つの部屋にトイレを増設。



福祉
文教

現地確認

- 日時 令和5年6月15日(木)
- 場所 いちごハウス、
みどりの資源リサイクルステーション



議会活動日誌

活動の一部を紹介します

4月

- 3日 議会活動活性化委員会
- 3・7日 広報特別委員会
- 23日 箕輪町議会議員選挙
- 24日 当選証書付与式
- 30日 消防団春季訓練



5月

- 11日 町の交通安全人波作戦
- 11日 5月臨時議会
- 19日 一般国道153号線・伊那バイパス期成同盟会総会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 初当選議員研修会
- 29日 定例協議会



6月

- 2日 町村議会議長会総会
- 5日～19日 6月定例会
- 16・21・28日 広報特別委員会
- 19日 退任議員感謝状・記念品贈呈式
- 27日 伊那中央行政組合 6月臨時会



町政の
ここが
聞きたい!

一般質問

議員13人が町に
質問・提案しました。

主な質問	議員	ページ
ジェンダー平等に関する啓発活動は	小口 智世	7
町民体育館の耐震・機能強化事業はどう行う	中村 政義	8
新図書館建設にむけての現状と取り組みは	平出 広志	9
少子化対策 プレコンセプションケアの推進を	北野めぐみ	10
高齢者福祉計画は順調に進んでいるか	中澤 清明	11
町教職員住宅の利活用の促進を	入杉百合子	12
職員の半強制的な消防団の加入を促していないか	上田 学	13
戦争への不安に応え今こそ中学生を被爆地に	岡田建二郎	14
不登校支援の民間受け入れ施設との連携を	中野 友美	15
公共交通の今後について考えは	白鳥 真吾	16
6月2日に発生した豪雨の対応状況は	寺平 秀行	17
ゼロカーボン推進、経過と進め方について	南 朋子	18
電力の地産地消と地域新電力会社協定は	小出嶋文雄	19

一般質問とは

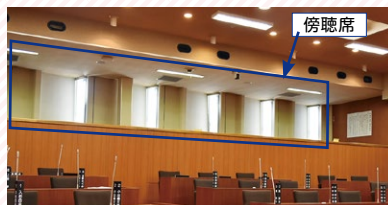
一般質問 町政全般にわたり町長やその他の執行機関に対し、状況や方針、報告や説明などを、各議員が自由に質問して回答を求めるもの。

事前通告制 議会を能率的にするため、質問の内容は事前に「通告書」として提出します

質問時間 制限時間ひとり55分

質問方式 一問一答方式です

質問順 くじ引き



どなたでも自由に傍聴できます

一般質問を動画でご覧いただけます

※視聴にはQRコードリーダー（アプリ）が必要です。
※動画視聴には通信料が発生しますので、Wi-Fi等の利用を推奨いたします。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



知ってる?

みのわまちのいいところ

箕輪町の「いいところ」があったら教えてね。
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

お待ちしております!

およそ半世紀を経て リニューアルされる博物館

「これからの町の発展のためには歴史をしっかりと把握する必要がある。」と考えた人々の熱意により、昭和49年(1974)11月に箕輪町郷土博物館が開館しました。以来約半世紀、郷土の資料を収集・保存・展示・研究する施設として町の皆さまに親しまれてきました。約50年が経過して施設の老朽化が進んだため、耐震補強工事を中心としたリニューアル事業



建設前の博物館敷地



改修前の博物館

を実施しています。リニューアルオープンは令和6年秋の予定とのこと。新しい博物館も楽しみです。

中山遺跡出土の土偶型土鈴

松島の中山遺跡(箕輪中学校敷地内)から出土した縄文時代中期(今から約5,500年~4,500年前)の土偶の形をした鈴が展示されていました。

高さは4.3cmで、頭部には目や口や髪の毛などが表現されています。胴部が鈴になっていて、左右に振ると、カラカラと小さな音がします。

縄文時代の人々は何を思ってこの鈴を鳴らしたのでしょうか?



土偶型土鈴(実物大)

ジェンダー平等に関する 啓発活動は

おぐち ちせ
小口 智世 議員



町長 実質的な平等の可能性を探りたい



議員 長野県パートナーシップ制度が今年8月から施行され、箕輪町でもそれに準じた制度ができると聞いた。差別意識が残ったままだと、当事者の方が安心して制度を使えない恐れがある。啓発活動をどのように行っていく予定か。

町長 町のパートナーシップ届出制度を制定したいと思っていたが、まずは県の届出制度を使う予定。県に届出をして認定されたら、町の行政サービスの適用を実施することになる。性の多様性についての人権講演会、女性活躍井戸端会議の模擬議会などを通じて、啓発活動を進めてきた。引き続き情報提供や啓発活動を進めたい。

議員 男女共同参画についてもまだまだな状況。普段当たり前になっているジェンダーバイアス（性別役割に関する偏見）に敏感になるには啓発が必要。町長自ら、差別をなくす覚悟と発信を。

町長 この問題は、女性の問題というよりは男性の問題。意識改革を進めるためにアンケート調査をするなどして、何とか形式的ではなく実質的なジェンダー平等になる方向性を探りたい。

学校の熱中症予防・対策

議員 全国の学校で年間5,000件もの熱中症事故があると聞く。小中学校での熱中症予防・対策は。

教育長 毎年、文部科学省と長野県教育委員会から「学校教育活動

等における熱中症事故の防止」という依頼が来る。その内容（水分・塩分補給、空調の整備、帽子の着用の指導等）を校長会などで伝えていく。町内の小中学校に、合計96本の経口補水液を備え、熱中症チェッカーの整備も行っている。



学校教育のあり方

議員 不登校児童生徒が安心して教育を受けられるような環境は整備できているか。

教育長 中学校を例にすると、町の中間教室、ステップルームなどを設置。オンラインで授業のライブ配信もできる。

議員 「友だちにいじめられた」、「男性の先生の怒鳴り声が怖い」など、不登校の子どもにとって、学校は安心安全な場所ではない。学校に戻すことを目的としているのか。

教育長 基本的には学校に戻ってほしい。ただ、それを強く出すと苦しくなってしまうので、それぞれの子どもさんの状況に応じた対応が大事だと考える。

議員 「学校には行かなければならない」という社会的規範が、親も

子ども自身も苦しめる。学校に戻すことではなく、その子のありのままが認められることを目指して、学校に行かないことも一つの選択肢として、民間の居場所や勉強場所を活用してはどうか。

教育長 学校に戻って欲しいという気持ちは持っていても、強制しない。子どもさんと話をするなどしっかり対応していきたい。

議員 教室に40人弱がぎゅうぎゅう詰めで先生の授業を聞き、テストで評価するという画一的な教育は限界がある。昨日「夢見る校長先生」という映画の自主上映会に行ってきた。自己肯定感を育める教育について、保護者や子どもも巻き込んで話し合う機会を設けては。

教育長 画一的な教育は過去ずっと続いてきたが、今は変革の時期に来ている。箕輪中の制服を子どもたちでつくることも始めている。ぜひその映画を観たい。子どもが主体となって取り組む授業づくり、地域に根差した「箕輪学」を推進し、新たな時代に対応した教育にしていくことができるように取り組みたい。



フィンランドの教室

町民体育館の耐震・機能強化事業はどう行う

なかむら まさよし
中村 政義 議員



町長 町体耐震改修とアリーナ増設を



改修前の町民体育館

議員 町民体育館の耐震・機能強化事業はどう行うのか、工事期間、体育館への立入りが不可となる。定期利用者の代替調整をどのようにするか。

町長 長野国体に向け、町の施設をフェンシング会場として活用できるか検討を重ねる中、フェンシング競技については、国際開催基準がピスト8面を設置可能な体育館1つとされており、複数会場での開催が可能か提案、昨年の中央競技団体の正規視察を経て、正式承認。経過を踏まえ、町体の耐震改修とアリーナ増設を行う。工事期間中の定期利用者の措置は、社会体育館・藤が丘体育館への割り振り、そのほか各学校の体育館、また文化センターや交流センターの活用も検討。すべての定期利用団体が最低限、週一回の活動ができるよう考えている。

議員 町民体育館改修後の観覧スペース、車椅子利用者への対応は。

町長 2階からの観覧は大変難しく観覧スペースとしては不向きで、1階アリーナの中に観客ス

ペースを設ける。車椅子利用者の方には、出入口や多目的トイレに近い場所で観覧いただけるよう配慮。

議員 長野県国民スポーツ大会フェンシング競技参加者、宿泊施設の確保は。

文化スポーツ課長 町内の宿泊施設の部屋数では不足。岡谷市から伊那市、駒ヶ根市までの間で配宿を実施。国民スポーツ大会の会期は11日間、フェンシング競技は4日間、特に宿泊施設の多い伊那市のソフトボール競技とは、日程の重複がないよう調整。

議員 ホテル等の誘致に積極的に取り組む計画は。

町長 ビジネスまたは観光という意味でも必要だ。大きな検討課題である。

小中学校の現況は

議員 部活動の地域移行の進行状況は。

教育長 文科省から部活動の方針として地域移行できるところ

から3年間かけて実施するように、スケジュールが示された。町教委としては、運動部、文化部も最初は休日部活から始めて、平日の部活動についても同様に地域移行していきたい。指導者の確保、活動場所、生徒のニーズに沿った活動にしていけるか。保護者負担の増加。クリアしなければならない課題が山積み。他市町村の様子、情報を集めプロジェクトチームを実際にこれから動かして、できるところから進めたい。

議員 部活動の地域移行を進めていく際、指導時に起こってしまったけがやトラブルに対する責任の所在は。

教育長 基本的には、主体となっているスポーツ団体や文化団体が責任を負うことになる。その時の状況や活動場所などによっては、責任の所在が明確にならない場合も想定される、県の教育委員会にガイドラインを明確に提示してほしいという要望をしている。

議員 部活に対しては朝練を取り止めとなり、今までの生活パターンと異なってきたことで、生徒への影響はないか。

教育長 朝部活が無くなったことで、生徒の生活に余裕が大分出てきた。登校についても、家庭でも教職員の働き方改革、負担軽減という面にも繋がっている。

新図書館建設にむけての 現状と取り組みは

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



町長 今後スケジュールを検討していく



子育て支援施策の 今後の展開は

議員 4月に設置した「こども家庭センター」の具体的な今後の取り組みは。学童期から思春期までの連携が不足しているのでは。

町長 今回、核家族化等による子育て中の保護者の皆さんの孤立感や不安に対して、母子保健と福祉を一体的に支援するために設置した。妊娠から出産、乳幼児期の子育て世代に伴走していくことが大切。全体として切れ目のない支援をすべての子どもや子どもを持つ家庭にしていきたい。

教育長 子どもたち一人一人が生涯にわたって人格を形成し、自立した個人として等しく健やかに成長できる社会の実現に向けて、さらに子どもさんや家庭の状況に対応できるようにしたい。

議員 子ども条例の内容と条例制定の時期は。

町長 町全体で子どもを産み育てることを応援することを目的とするための条例を想定している。今後、児童・生徒、保護者の皆さんへのアンケートを実施し、意見集約等を踏まえて、10月以降議会へ提案する予定。



スマート行政の 進捗状況は

議員 役場への申請を全てオンライン対応する取組の現状は。

町長 国の示している子育て・介護等の27手続きのサービスは、昨年、国で整備をした「ぴったりサービス」が申請可能となった。町独自のツールを活用して補助金申請、アンケート等での整備を進めている。中学校の欠席・遅刻等の連絡申請では今まで8,566件活用している。11月から保育園の利用申込をオンラインで可能にしたい。今後できる限り予約・届け出等のオンライン申請を進めてまいりたい。

議員 生成AI「ChatGPT」の活用を積極的に行うべきではないか。

町長 けっして生成AIの機能を否定的に考えてはいない。県と同様な「ChatGPT」機能を搭載した文字起こしツールを活用して行く予定、優れた機能を使っていくことには変わりはない。

また、担当課、情報化推進メンバーで検証を行い、優れた機能をどこかの段階で使う方向である。

新図書館早期実現に むけて

議員 町長は、1期目の公約から一貫して新図書館の建設を掲げている。今回の選挙活動を通して多くの町民が切望している。新図書館建設の現状は。



箕輪町図書館

町長 町長就任後、公共施設の耐震化、未利用建物の解体、保育園の建設の事情があり、そこに先に投資してきた。

図書館の建設を進めていく必要性があることについて、変わりはない。

議員 新図書館に求める機能について。

町長 図書館を取り巻く機能は大きく変わりつつある。デジタル化に対応した図書館、居場所、賑わいのようなコンセプトを持つ等、単に蔵書を貸し出す機能だけではないものが出てきている。図書館の機能を町民の皆さんに理解していただく方策も考えていきたい。

議員 新図書館建設に向けたスケジュールは。

町長 博物館、町民体育館の大規模改修工事が2年後に終わる。大規模なものが終了する段階でスケジュールを検討していく。

専門家や住民の皆さんを交えた計画づくりがベターと考えている。

その他の質問

● 技術系職員の採用とインフラ整備部署の兼務の解消について

少子化対策 プレコンセプションケアの推進を

きたの
北野 めぐみ 議員



町長 専門性の高い県の事業にも注目



本年度の防災・減災対策は

議員 コロナ感染症の5類移行をうけ、本年度の地震総合防災訓練のポイントは。

町長 基本的な感染対策は取りながら、コロナ禍以前のような参加人数に制限を設けないやり方、各区におきましては避難所の開設と運営訓練、避難行動の実施をする。役場の災害対策本部と各避難所での訓練の2本立てで実施する。

議員 マイタイムラインの重要性と町民への周知は。

町長 町内全戸に配布している防災ハザードマップの裏面に、いざというときに避難するなどのメモ欄を作っている。それを家族の皆さんで話し合うというように、一段とレベルを上げなければいけない。

議員 町民の防災リュックを備えるきっかけとして、^{あっせん} 斡旋や補助は。



防災リュックとその中身

町長 ぜひ町民の皆さんには日常的に使うもの、用意しておかなければいけないものについてはご準備をお願いしたい。避難所で使うものについては町の責任として準備しなければいけない。防災リュックについての支援は考えていな

い。むしろ、在宅避難する場合には必要な物については、考慮に値すると思っている。

带状疱疹ワクチン接種の推進を

議員 带状疱疹ワクチンの効果についての認識は。

健康推進課長 予防効果の持続性として、生ワクチンは5年程度、不活化ワクチンは9年以上で、不活化ワクチンのほうも大変有効だと考えている。

議員 ワクチンの周知と接種の推進は。

健康推進課長 定期予防接種と違い、国による接種勧奨がない任意接種であり、町による特別な助成を実施していないため、積極的な周知はしていない。町内の内科系の医療機関でも事前に相談の上、予約すれば接種は可能である。もし町の方に問合せがあった場合には、丁寧な説明をしてみたい。

議員 ワクチンの助成を。

町長 予防接種法上では規定されていないワクチンである。現時点では長野県の動向を見ると積極的な活用を考えてはいない。国の状況待ちというふうに考えざるを得ないかなと思っている。

プレコンセプション (妊娠前ケア)の推進を

議員 プレコンセプション(PCC)についての認識は。

町長 20歳代の多様な生活スタイル、また晩婚化によります妊娠率の低下でありますとか、若い世代の皆さんにも重大な病気が発生するということが出てきているような状況下において、このPCCについては町としても十分ケアをしていく必要があると改めて認識した。

議員 学校におけるPCC教育の推進状況は。

教育長 現在プレコンセプションケアという言葉を使って直接的な授業として扱うということはないが、狙いや内容で似通った教育は保健の授業等で進めている。

議員 家庭・社会におけるプレコンセプションケアの今後の普及や啓発の在り方は。

町長 とりわけ若い男女の皆さんにその必要性を分かっていたが、実は行政は若い世代と接点が少ないというのが課題である。そういった意味から、PRの仕方を考えなければいけない。

全国における带状疱疹予防公費助成導入の状況
(全国13自治体) 2022年1月時点

(青字自治体) 9自治体
対象ワクチン2種類
生ワクチン：乾燥弱毒生水痘ワクチン「ピケン」
不活化ワクチン：乾燥組換え带状疱疹ワクチン「シグナックス」

(黒字自治体) 4自治体
対象ワクチン1種類
生ワクチン：乾燥弱毒生水痘ワクチン「ピケン」



ワクチン助成の全国の様子

出典元：グラクソ・スミスクライン株式会社
ワクチン制作部・ワクチン制作支援
コーディネータの篠原修二氏の作成

高齢者福祉計画は 順調に進んでいるか

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



町長 課題はあるが一定程度進んだ



議員 高齢者福祉計画では高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる体制づくりを基本目標にして、医療、介護、生活支援等のサービスが連携し、互いに支え合う地域包括ケアシステムの確立を目指すとしていたが

①地域包括ケアシステムの確立は順調に進んでいるか。地域ケア会議等の推進体制は機能しているか。住民や企業は等の役割分担を果たしているか。

②高齢者福祉計画で謳われた施策の方向性に沿った事業化、具体的取り組みはどんな状況か。生きがいづくりの施策の方向性に就労的活動支援コーディネーターの配置を目指す所であったがどんな状況か。介護予防の推進では介護状態になっても重症化しない取組みを進めるとあったが何をしてきたか。

③高齢者福祉計画見直しにあたって団塊世代の高齢化で増大する介護需要への対応をどう考えるか。また高齢者福祉の支え手確保にどう取り組むか。



元気体操の様子

町長 ①地域包括ケアシステムについては十分できているかは評価の分かれるところだが地域やボランティアによる取組みは一定程度進んだ。推進体制では地区社協や

地域ケア会議などネットワーク形成をしてきた。医療、介護、福祉施設の連携もそれなりにとってきた。課題としては高齢者の活躍の場、特に男性の参加が少ないことと在宅での看取りが進んでいないことがある。

②公民館活動、住まいの問題、暮らし方の問題、生活支援の充実等に取り組んできた。介護予防では総合事業に力を入れ、いきいき体操、いきいき塾、ふれあいサロン、口腔ケア、栄養指導などで対応している。

③介護需要の増大、支えての確保は今回計画のポイントだが、全国的課題で非常に難しい問題と思っている。

今回の町議選について

議員 8年ぶりに選挙戦になって町民に投票の機会が与えられたことは大変良かったが、投票率が極めて低かった。

①投票率が低かったことの所見は。
②直前まで定数割れさえ危惧されていたが一転選挙戦になった。この経緯についての所感は。

③議員のなり手不足について感じている点、議会に期待する点は。

選管委員長 ①過去最低の投票率で残念であった。原因としては若年層で低かったこと、候補者が出なかった地区で低かったこと、町の事情や施策への関心が希薄になっていることなどである。

②突然の選挙戦で候補者の訴えが有権者に届かなかったのではと思う。議員に立候補するときは早くから有権者に目標や公約を訴えることが望ましいと考える。

③議会の運営、身分や報酬、選挙の負担など課題は多岐にわたっているが議会や町の取り組みを積極的に発信することも必要と考える。

ふるさと納税について

議員 みのわの実5月号にふるさと納税の特集記事が出ていたが、増えたことで町や返礼品事業者がどんな恩恵を受けているのか全く見えない。

①急増した要因として登録事業者の増加となっているが、町の姿勢が変わったのが一番の原因ではないのか。

②令和4年度に寄付された5億700万円のうち町のお金として使えるのはいくらか。

③他市町村に出て行っているふるさと納税の影響は。

町長 ①返礼品の拡大とポータルサイトを増やしたことが要因で、町の姿勢を軌道修正したつもりはない。

②返礼品等の経費が約2億4千万円が残る2億6千万円が町の財源になっている。

③1,099人が寄付していて金額は8,149万円だが、町の収入減少分の75%が普通交付税措置されるので実質的な収入減は25%で1千万円弱である。

町教職員住宅の利活用の促進を

いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員



町長 来年度に向け検討したい



議員 教職員用住宅「メゾンみんなのわ」の利用が減少している理由と、現在の利用状況は。

町長 単身用と世帯用がある。世帯用は長期の体験住宅、大正大学の学生さんに活用で、利用形態を変更している。単身用は、令和2年度が4人、令和3年度が2人、令和4年度は0人、令和5年度1人が入居している。他のアパート等が充実してきていることもあり、教職員住宅としての役割は終えつつあると感じている。

議員 利用が減少して空き家状態なのはもったいない。何か別の利活用をするべきでは。

町長 まずは教育委員会の中で現在の利用実態から見て、教職員住宅としての役割が終わったかどうかの判断をいただき、今後不要とあれば、行政財産か、普通財産に切り替えていく。行政財産として使用する場合は、一つは福祉的な要素の中で、住宅的な要素で考えたい。また、起業・創業を考えている方々に対するスペースの貸与も考えられるので来年度に向けて検討させていただきたい。



「メゾンみんなのわ」

未婚の増加に注視して対策を

議員 少子化の大きな要因は未婚者の増加と言えるのではないかと。深刻な少子化は非婚化が原因と思われるが町長の所見は。

町長 結婚は個人の問題で行政がどこまで介入できるか難しい部分がある。町内の婚姻数は昨年百組を下回り、婚姻率が下がっている。長く働く方が多くなったり、働き方が変わってきている中で、経済的な部分も非常に大きいので、そんなところに行政として手を入れていかなければと思っている。

奨学金返還支援補助金の充実を

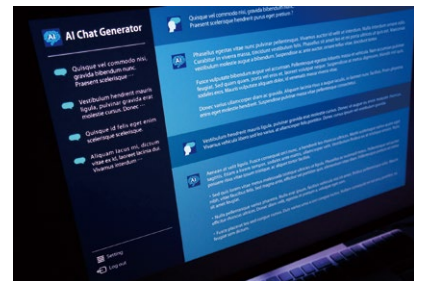
議員 大学生のU・ターンを増やすために、奨学金返還支援補助金のさらなる増額と周知の強化を。

政策調整担当課長 U・ターンして、上伊那区域内で就職した方に、年間の奨学金の一部を補助するもので補助率は2分の1、年間の額にして15万3,600円を上限とする。令和4年に7人の新規申請があり今年度は既に15人の申請を受けていて、うち13人が女性。近隣市町村と比較して町の補助金の内容は充実しているほうだと思う。周知については今後研究したい。

AI・チャットGPTの活用は

議員 AI・チャットGPTの効果的な活用の検証と方向性は。

町長 推進員の皆さんが活用して課題が解決しているという判断になれば解禁し、県の動向が7月に出てくるのでそこで判断したい。



伊那松島駅トイレ建設事業の現況は

議員 伊那松島駅のトイレの工事がなぜ長期間手つかずのままなのか。

町長 調整の内容が、駅利用をしているJRの問題と駅前駐車場が県有地で、県の土地の利用の問題と交通事業者との調整がなかなか届かない。しかし今回、ほぼ調整ができそうなので、できる限り早く実施計画に基づいた対応をしていきたい。



伊那松島駅トイレ整備予定地

職員の半強制的な消防団の加入を促していないか

うえだ まなぶ
上田 学 議員



副町長 お願いしているが強制的ではない



少子高齢化対策

議員 伊那市、南箕輪村、辰野町ではなく、なぜ箕輪町へ移住するのか。そのメリットは。

町長 上伊那地域の中の競争にあまり目を奪われてはいけないというふうに思っており、上田議員のお尋ねした議論は差し控えさせていただく。ただ一方で、上伊那の市町村の施策がどんなレベルにあるのかということについては、常に注目もしている。

消防団員の確保

議員 15年以上も議会でも言われ続けていて町長自身も組織を見直さなければいけないと言っていた。何をどのように見直されたか。

町長 毎年行事の見直し、令和元年から操法大会の中止、機能別消防団の制度の導入、報償金、年間報酬の増額を行った。

議員 それによって団員数がどのように変化したのか。

総務課長 平成30年度395人、令和元年度396人、令和2年度388人、令和3年度386人、令和4年度375人、令和5年度359人。

議員 役場職員の半強制的な消防団への加入を促していないか。

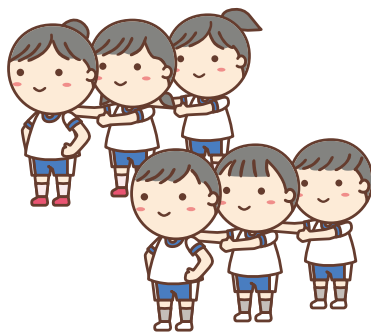
副町長 加入をお願いしているが強制的ではない。

学校教育

議員 伊那市、南箕輪村、辰野町ではなくなぜ箕輪町で教育を受けるのか、そのメリットは。

教育長 5つの小学校、1つの中学校という、とてもコンパクトな学校数があり、一緒に取り組める良さや個別にそれぞれの特色を生かせる良さがある。各学校の先生が子供達と一緒に熱心に取り組んでいる。

議員 気をつけ、前へならえ、休めは現在どの程度行われているのか。



教育長 ケースバイケースで行っていない学校が多い。ただし避難訓練などでは集団行動の基本として行う場合もある。休めはほとんど使わない。

議員 授業開始時の起立、礼、着席は行われているか。

教育長 それぞれの状況によって違う。

議員 近年、体育座りは体に悪いということで廃止されている学校もあるが箕輪町内は。

教育長 短時間の場合は体育座りしていることが多い。ただ、各校

ともに体形に合わせて座り方を変えたり、座りやすい座り方については認めている。長時間の場合は椅子を利用するなど配慮している。

交通安全運動

議員 5月11日に行われた人波作戦の具体的な効果は。

総務課長 地道な広報活動、啓発活動がドライバーの皆さんの意識を少しでも変え、交通事故が減少するような取り組みを今後もしていきたい。

もみじチャンネル

議員 もみじチャンネル業務委託料の約380万円の金額は妥当か。

町長 見積もりをとりながら過去の状況も踏まえて契約してる。

議員 具体的な視聴率は。

町長 伊那ケーブルテレビは、視聴率をとっていないので不明。

子供の安全対策

議員 通学路内で危険な道に対して把握し必要がある場合は町や県に要望する体制ができていないか。

教育長 令和3年度には通学路緊急安全点検を実施し、現時点で点検を行った。県が対策することが必要な箇所は県へ要望を続けている。町でできる箇所については少しでも進捗するよう対応している。

戦争への不安に応え 今こそ中学生を被爆地に

おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員

教育長 来年度からの実施に向けて調整中



議員 昨年のロシアとウクライナの軍事衝突を受け、大人だけでなく子どもたちの中にも未来への不安や戦争への恐れが蓄積されている。教員時代に被爆地訪問を体験している教育長だからこそ、この事業の意義は熟知されているはず。1年でも早く事業の実現を判断すべきではないか。

教育長 子どもたちの1年はかけがえのない財産であり、被爆地への派遣事業は町の平和教育として大きな意義があると考えます。来年度の事業実施に向けて検討を進めています。



平和記念公園で被爆者の証言を聞く生徒

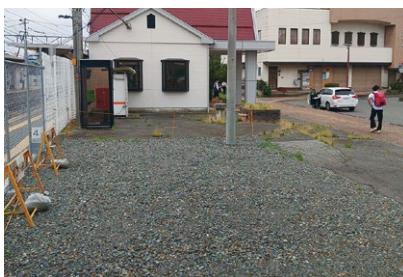
議員 被爆地訪問は参加する児童生徒にとって人生を左右するような意味を持つ。参加できない生徒も課題を共有できるよう、事前・事後学習も大切な過程と考えるが、構想は。

教育長 事前・事後の平和学習を丁寧に行なうこと、まとめや感想などの発信も含めて一連の流れの中で位置づけて取り組みたい。

伊那松島駅公衆トイレの 早期再開と一日も早い 仮設トイレの設置を

議員 駅併設のトイレが取り壊されて1年以上が経過している。セン

ターパークの公衆トイレも撤去されており、駅を利用する学生や通勤客、観光客も幅広く利用できるトイレの早急な整備が求められるが、事業着手・供用開始の見込みは。



トイレが撤去された伊那松島駅

町長 JR東海と協議し、駅構内にあったトイレはJRで解体し、新たに公衆トイレを町で整備する。JRや交通事業者、県有地等関係者との協議が整ったので、できるだけ早期の事業着手に務めたい。

議員 供用開始までの間、応急処置として仮設トイレ設置の要望が強い。工事業者用のトイレでなく、駅利用者のための仮設トイレの設置を急ぐべき。

町長 町有地ではないため難しさもあるが必要性は認識している。関係機関と調整して検討を進めたい。

福祉センター利用者の 細かな要望も、防災交流 施設の整備に反映を

議員 耐震強度不足から廃止が決まっている福祉センターの代替施設として防災交流施設が検討されてきた。一方で、福祉センターの利用者からは利用団体ごとの収納場所の整備など、細かな施設整備

の要望が反映されるのか不安がある。利用者とのコミュニケーションを密に取るべきでは。

町長 これまでも公募形式でワークショップは重ねてきた。今後も運営方法など細部を詰めなければならないので、利用が想定される皆さんからの意見聴取も進めていきたい。

減少傾向が著しい投票率に、 議会も町も危機感をもって対応を

議員 過去最低の投票率となった町議選は有権者の半数が棄権してしまった。議会にも町民との接点を増やす努力や情報発信の強化が求められるが、町選管もこれまでの対策の延長ではなく、選挙制度の課題について選管で話し合い、政府に要望するなどの主体的な取り組みを期待したい。

町長 行政に対する関心低下の反映であり、町の事業が皆さんに届いていないかもしれない。危機感を強めている。

選管委員長 若年層の投票率の低下は大きな課題だが、子育て世代になると投票率が上昇する。子育てや生活への影響が大きくなる世代を中心に、SNSの活用も含めた政治参加を促す施策を検討していきたい。

その他の質問

●通学路に隣接する農地等の畦畔^{けいはん}管理について

不登校支援の 民間受け入れ施設との連携を

なかのともみ
中野 友美 議員



教育長 情報共有し連携していく必要あり



議員 不登校支援は、公的機関以外のボランティアによる民間事業体の役割も大きい。「こども家庭センター」「教育委員会」等の公的な機関と、子どもの居場所や相談支援の一端を担う民間事業者との連携強化を。

教育長 「こども家庭センター」ができ、すぐに完璧な状況でのスタートができていないが民間との連携は必要と認識。各受け入れ施設の設備等については、相互利用できるように柔軟に対応する。

議員 民間事業者へボランティアではなく「委託」や「教育コーディネーター」を設置する考えはあるか。

教育長 現時点で「委託」は考えていない。まず相談の内容、ニーズをしっかりと把握してから。家庭支援の中で情報を紹介する仕組みはできている。ただ情報が十分でない部分もある。窓口の整理も必要。民間事業者について、把握できていない面はあり、事業者の方が目指す形、実態を町教委に相談に来て欲しい。

議員 その他の支援の方策は。

教育長 こども相談窓口の電話番号を書いたカードを配布した。「こどもヘルプデスク」を開設しオンラ

インの相談体制をはかる予定。

議員 不登校になった時、保護者や子どもに渡せる「居場所マップ」もぜひ作成を。

保育士の処遇改善を

議員 子育てに関わる経済的支援や育児相談などの充実に伴い、正規職員は27%しかない状況で、十分に現場職員の声が検討され、負担は把握されているか。

町長 保育園側の理解を得なければ制度変更はできない。皆さんの意向を聞き実施が通例。

議員 働き方改革という言葉が先行し、自宅で作業する無償労働の現実をどう思うか。

町長 公務に携わる者の使命で、子どもや親のためにプラスになるならば、しのいでほしい部分もある。しかし、負担の増大は避けなければと思う。

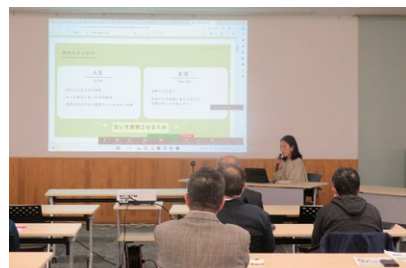
議員 年度予算以外に保育士自己負担になっているイベントの準備経費・消耗品の考え方は。

子ども未来課長 運用方法を見直す。保育士の負担軽減、モチベーションと、質の向上を期待する。



地域おこし協力隊の 評価は

議員 令和4年度報告会を聴いての所見は。



町長 日頃の活動は、行政の守備範囲を超えて、活動をしていると思う。課題は、地域の中に入り込めなかった隊員による個人差や、隊員の描くライフプランの実現と、活動にズレが生じやすい制度。実際の成果として、具体化できているかということ、一部そうでないものもある。

議員 今後の活用方針、評価基準は。

町長 活動評価はないが設ける必要がある。現在は活動提案型で役場の席に座っての業務ではないが「行政補完型採用（役場会計年度任用職員）」もあってもよい。

議員 月額報酬以外の活動費1人200万円について、総計で54.6%が住宅費、自己車両費での使用だが適正か。

企画振興課長 適正だが、令和5年度より「条件説明書」で上限を設け判断。

その他の質問

● 福祉事業委託先の人事状況について

公共交通の今後について考えは

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員



町長 公共交通はある程度必要



議員 みのちゃんバス、町内定額タクシーを含めた箕輪町における公共交通の今後について考えは。

町長 公共交通はある程度必要だと思う。みのちゃんバスをどうしていくかという議論は必要だと思っている。町民の皆さんが使いやすい、また、お金のかからない、運行経費や車両の経費など財源も含めて考えていく必要がある。

町内定額タクシー 周知の方法は

議員 デマンド型タクシー実証実験の時に、登録者・利用者が伸びなかったのは、周知の方法が原因の1つではないか。「みのわの実」と一緒に配布をされるチラシのほかに検討しているか。

町長 タクシー事業者などと調整が整い次第、8月には全戸にチラシを配布する。また、敬老会などにお呼びいただき制度の周知をしていきたい。

議員 ふれあいサロンなどで説明や登録をしていただくことも検討を。

町長 いただいた提案を含めて、

高齢者の皆さんがお集まりになる場所は有効だと思う。検討をさせていただく。

教員の勤務実態は

議員 4月に文部科学省から教員勤務実態調査(速報値)が公表され、前回調査より勤務時間・残業時間ともに減少したが、国が残業時間の上限としている月45時間を超える割合が小学校では64.5%・中学校では77.1%。過労死ラインと言われる月80時間を超えている可能性がある割合は小学校で14.2%・中学校で36.6%と、高い状態が続いている。町内で勤務されている先生方の勤務実態は。

教育長 令和4年4月から7月の数値で、月平均45時間を超え80時間未満は小学校で51.6%・中学校で57.4%。月平均80時間を超える割合は小学校が9.5%・中学校で10.6%になっている。町内は低い数値になっているが、依然として時間外勤務が多くなっている。減少傾向ではあるが、行事等を含めて、業務の状況にもより一概には言えないが、まだまだ多いと思っ

ている。

議員 残業時間の削減について取り組んでいることは。

教育長 自宅でも学校でも使える校務用パソコンの活用を進め、会議の時間については職員会議を減らすなど、取り組んできている。学校と教育委員会と一緒に取り組んでいる状況である。

学校給食費無償化に ついでに考えは

議員 現在の物価高騰が続く中、給食費の納入が大変だという方もいる。保護者の皆さんの経済的不安を軽減できる1つに、学校給食費の無償化がある。給食費の無償化を実現してほしいという声も届いている。無償化について考えは。

教育長 負担という点で考えると、無償化ということも検討の一つになる。学校給食法では、設備などの経費以外は給食を受ける児童・生徒または保護者が負担となっている。そういったところを検討していく必要がある。

町長 国の少子化対策の中でも議論が始まっている。そちらの考えも見ていく。経済的負担の軽減策の次の一手をどうするか議論はやはりある。給食費だけではなく、どの分野でどの程度経費がかかるのかという事を議論の中で決めないといけない。国の改善を待ちたいと思う。



役場前から各コースへ

6月2日に発生した豪雨の対応状況は

てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員



町長 土砂崩落等20件、対応策を検討



議員 6月2日に台風2号の影響により西日本から東日本の広い範囲で大雨が降った。静岡など6県では局地的に豪雨をもたらす線状降水帯が発生した。また、長野県では箕輪町を含む南部でも大雨が降った。この大雨の影響とそれに対応は。

町長 大きな被害はなかったが、町内では側溝に水が溢れたり、土砂が堆積するなどの事案が20件報告された。特に福与・三日町地区では降水量が多く、吉田ヶ沢が氾濫し、のり面の崩落や農地の崩壊がいくつか確認された。幸いなことに、人的な被害や家屋の被害はなかった。土砂崩落現場については、現在関係機関や関係者と協議し、対応策を検討している。現在は梅雨の時期であり、台風の可能性もある。豪雨時の状況は予測がつかず、いつ起こるか分からないため、対策には十分な配慮をしていきたいと思っている。

学校の役員選挙の運営は

議員 選挙の啓蒙では若いうちに選挙に積極的に関与することが重要だ。現在小中学校の役員選挙はどのように運営されているのか。

教育長 小学校や中学校では、実際の選挙を意識して実施している。選挙管理委員会から投票箱と投票記載所をお借りして実施している。Forms (Googleフォーム) を使った電子投票も行われている。

森林管理の方向性は

議員 森林管理について現状と取り組み、今後の方針は。

みどりの戦略課長 今年度、森林ビジョンを策定する予定である。箕輪町の全民有林について、今後50年を単位として、森林政策の方向性や優先順位について検討し、具体的な取り組み方を明らかにする計画である。このため、令和4年度に森林ビジョン策定のための事前調査を行った。調査の結果、町の面積の6割以上を占める民有林の管理が中長期的な課題として挙げられた。里に近い森林や林道に面した森林は収益性が高く、林業に適していると考えられる。町の方針としては、収益性の高いエリアには経済林として手を入れ、効率的な作業を行いたい。また、産業リスクの高いエリアについては、適切な管理と災害リスクの除去を優先し、危険性を低減する努力を行う。また、森林の集約化や所有者の連携を通じて、経営管理制度や木材生産以外の活用方法についても検討する。



森林と共生する箕輪町

中高年ひきこもりの対応は

議員 先日、長野県が「今後のひきこもり支援のあり方取りまとめ」という報告書を公表した。県の調査によると、ひきこもりの年齢層では、40歳以上の中高年が全体の63.1%を占めていることが分かった。ひきこもりの原因は、はっきりと分かっていないケースが一番多く32.7%だった。これらの複雑な問題に取り組むため、箕輪町では重層的な相談体制の構築に力を入れている。具体的な中高年ひきこもりの現状や取り組み、そして重層的支援体制の進捗状況は。

町長 ひきこもりについては、まだ町内の実態が明らかになっていない部分があるので、調査を行う必要性を感じている。重層的支援体制の整備はまだ始まったばかりだが、関係機関との協力や意見交換を通じて包括的な支援を行うための体制整備が進められている。現在も連携が行われており、問題点を絞り込み、アウトリーチ活動を行えるようにしていきたいと考えている。ひきこもりの実態把握をしたい。

その他の質問

- 町議会議員選挙について
- 常会の未加入について

ゼロカーボン推進、経過と進め方について

みなみ ともこ
南 朋子 議員



町長 喫緊の課題、重要政策に位置づけ

議員 計画決定の経過は。

町長 2021年7月から町地球温暖化対策特別委員会で調査研究、パブコメ、温暖化に関する住民アンケート。環境省の再エネ推進交付金受理により事業化した。

議員 加速化事業計画として公共施設をモデル事業に進められているが、町民の意見は十分に取入れたといえるか。

町長 国・県を挙げて実施する方向、決して間違った方向ではなく必要と認識。

議員 プランについてはもっと色々な考え方があるのでは。知らないうちに、こうした計画がなされたとの声を多く聞いている。パネル設置のために、文化センター花壇草花の撤去が通告されたとの苦情がきている。まだ計画段階なのでは。



草花の撤去を通告された花壇

町長 通告したことは事実。その場所以外が可能か検討したい。

議員 保育園との境目でもあり、園児の情操教育の観点、景観的にも設置の撤回をお願いしたい。観光客・移住者は自然や景観に魅力を感じて来町する。製造過程に多くのCO₂を排出し、数十年後にはゴミとなるパネルを増やすのではなく、じっくりと時間をかけて、人工石油や水素自動車など日本企業の技術、温泉バイナリー発電な

どを検討してみるのはいかがでしょうか。

議員 再エネ発電施設の設置・管理に関する条例制定の考えは。

ゼロカーボン推進室長

県が条例化の予定。

議員 辰野町小野で、申請義務のない分割案件により木が伐採されてしまった。そうした際の対策は。

町長 今までそうした事例や大きな問題がなかった。ガイドラインの効果だと思っている。

議員 すぐ隣で起こったことで危惧している。警戒してほしい。

郷土博物館の改修、エレベーターがない

議員 メイン展示は2階なのにエレベーターがない、外付けは可能のようだが。

町長 改修の限界、補正予算の中での検討も踏まえ実施はしない。

議員 不特定多数者の利用を阻む。バリアフリーは必要最低限不可欠。簡易昇降機も考えられるのでは。また、3億以上の予算があるのなら新設もできるそう。今後改修予定の図書館と複合施設化して、中身をより活用されるよう試みてはどうか。縄文ブームでもあり、観光客も呼べると考えるが。

町長 公共建築物を新たに作ることは基本的にはしない。

議員 要は財源。ゼロカーボンには使えて、図書館・博物館に使えないのはなぜ。未来の子どもたちにつけを回すことはしない。

花桃街道、通学時の安全確保

議員 通学時のスクールゾーン速度規制、または減速ランプの設置、スピード抑制効果のある塗装などはできないか。

町長 まずは歩道設置。速度規制の提案は、公安委員会・長野県伊那建設事務所に話していきたい。住民ボランティアの力はありがたい。

下古田の沢の保全 小さい区への支援策

議員 7つの沢の保全工事など、住民負担がとても大きい、町の支援は。

町長 町の限界。地域でお願いしたい。

議員 豪雨災害の増加は、気候変動やCO₂だけの問題ではなく、里山の暮らしが廃れたことも一因では。土地や川が塗り固められ、保水力を失っている。対処療法的な土木工事が必要だが、未来を見据えた長期的な視点で森林整備を考えて。間伐して燃料にしたり、広葉樹の植樹など、県外の人や子どもたちも巻き込んだイベントやプロジェクト化するなど。農水省も有機農業にかじを切った。安全な食料で自給率の向上を図り、健康で豊かな、医療費をかけない箕輪町を目指しては。

町長 できることには限度がある。議員が活躍していただきたい。

電力の地産地消と 地域新電力会社協定は

こいでしま ふみ お
小出嶋 文雄 議員



町長 非FIT余剰電力の買取りと供給



議員 電力の地産地消を行うために、地域新電力会社を選んだ経緯は。

町長 箕輪町における非FIT太陽光発電施設の余剰電力の買い取り、町の公共施設及び事業所等へ実質CO₂フリー地産電力の供給、将来的出資等に関して丸紅伊那みらいでんき株式会社と連携協定を締結した。

上伊那クリーンセンターで発電している電気の買い取りや、伊那市も出資してゼロカーボンを進めている。

議員 電力の地産地消の量は。

町長 町内の既存家庭の非FIT余剰電力を買い取ってもらい、まずは子育て支援センターへ供給してもらう。年間7,200kWhの電気使用を見込んでおり、CO₂削減量としては年間約3tを見込んでいる。今後補助事業を利用して既存住宅への太陽光発電装置の設置を増やし、保育園などへの供給を拡大していく。

議員 出資のメリットは。

町長 太陽光発電による電力を地域内での循環をしていくため手段としてこの地域新電力会社が一番効率もよく、実際動いており、協力関係をつくっていくことが事業の進展に役立つ。

みのわメイトの 地域連絡手段活用は

議員 緊急情報を含めた町からのみのわメイトを使って配信しているが、みのわメイトへの登録状況は。

総務課長 令和5年5月末時点で8,081人が登録。20歳以上の約4割が登録している。

議員 みのわメイトによる地域内の情報伝達や地域やグループなどのコミュニケーション手段としての活用を推進すべきと思うが、現在の活用状況は。

総務課長 みのわメイトによる各区からの情報発信を使っている区は7区で、区や公民館の分館の行事のお知らせのほか、防災訓練での活用も増えている。だれでも自由にグループを作って常会の中の連絡網としての利用、配布物や回覧をデータで共有するなどの取り組みも進んでいる。

これからも地域の皆さんなどの集まりなどで説明をして拡大したい。



みのわメイトの活用

竜東線中村信号機交差点 周辺の渋滞対策は

議員 竜東線中村信号機周辺の渋滞は、通勤時間帯には2時間以上にわたり南北1キロ以上の渋滞が続き、地域内にも安全上影響が出ているがその原因と対策は。



中村交差点渋滞

町長 竜東線の交通量は全体としては少し減少してきているが、朝晩の渋滞の状況は変わらない状況であり、通勤車の集中が渋滞の原因であり、県などに対策を前からお願いしているが、なかなか妙案がないのが現実であり、県に新しい方策の研究を申し入れたい。

議員 天竜川の対岸の辰野町地籍に建設中の工場が完成した時には通勤する従業員数の増加が予想されるが、通勤時の交通渋滞がさらに拡大しないよう対策を講じるべく、企業に対して申し入れするべきと思うが。

町長 会社に対して、時差出勤など通勤時間帯の交通量を考えてもらうよう、また通学路の安全対策、地域の生活者への配慮についても交通安全協会も含めて申し入れをしていく。

働く女性・ママの視点で、地域観光協会などの記事執筆のほか、伝えたいコト・人・モノ・町の制度紹介などのSNS発信が人気です。イベントの企画や、参加が大好きなので、取材中の私に会ったらぜひお声がけくださいね。



中野 友美

移住1年目は交流菜園で野菜づくりに精を出し、2年目は空き家再生に取り組んでいます。初めての定例会が終わり、やっと壁塗り(珪藻土)に挑戦中。



上田 学

名前は「空(くう)」。般若心経の色即是空からとりました。全ては「空」であり単独で存在しているものはありません。全て関係性の中で存在しています。議員として日々当たり前でないことを噛み締めて前へ進みます!



白鳥 真吾

県内各地の神社・仏閣でいただける御朱印を集めています。月ごとや季節によって限定の御朱印もあり、参拜で心身ともに充実した時間を過ごすこともできます。同じ趣味の方とお話ができたらと思っています。

はじめまして
議員一年生
です
よろしく
お願いします!

南 朋子

我が家の癒しの家族「こむぎ」です。小さな声で「クゥッ、クゥッ」と寝息を立てて寝ている様子を見て、「来世はこむぎに生まれたい」と思っている今日この頃です。



北野 めぐみ



平出 広志

私の一番の宝物は健康です。趣味のゴルフはゆったりと流れる時間の中を、緑のフェアウェイで小鳥のさえずりを聞きながらのラウンドは私のリラックスタイム、4年前からはトレーニングやヨガを取り入れて楽しんでいます。

私は、子どもたちから「忘れ物を取りに戻ってくる天才」、「天然」、「値引き商品ハンター」の称号をもらっています。「そこがいいんだよ。」と笑ってくれる子どもたちには、教えられるばかりです。
写真はペットのバグ(パルム♀2才)



小口 智世

退任議員のあいさつ

釜屋 美春さん
3期12年、生活者の視点からの提案を心がけ、緊張しながらも充実した毎日でした。多くの皆様からのご指導・ご鞭撻に心から感謝申し上げます。これからも箕輪町の発展と女性や若者が活躍する町を願って参ります。

木村 英雄さん
この12年間、私なりに行政と住民の懸け橋の一端を担うことができたのではないかと考えています。箕輪町は、大いなる可能性を持った町です。今後も箕輪町発展のためにお手伝いが出来ればと考えています。

松本 五郎さん
私が12年間議員活動をできたのも住民の支えがあったおかげです。生活相談の中には重大な悩みが沢山ありました。議員を退任しましたが、これからは住民の方々と手を取り合って町の発展に協力してまいります。

青木 俊夫さん
体調面のこととはいえ、議員を退任したことは残念であります。支えていただいた町民の皆さまに感謝申し上げます。これからの議会活動に一町民として期待しております。

唐澤 敏さん
お世話になりました。良心と責任感を胸に抱きつつ、住民福祉の向上を目指して、町政発展のため政策の立案や形成に力を入れて取り組んできました。皆様への深い感謝とともに、町議会の健全な発展を祈念申し上げます。

中澤千夏志さん
令和2年9月と令和3年9月に災害に強い森林復元のための直根ブロック苗づくり講習会と「環境シンポジウム」を開催しました。森林火災、台風倒木、クマの出没など地域を守る人のつながりの大切さを実感しました。箕輪町の発展と安心を祈念いたします。



6月19日に退任議員の方々に感謝状、記念品の贈呈式が行われました。

ありがとうございました

編集後記

新体制でスタートした箕輪町議会のスタート号はいかがだったでしょうか? 7人の新人議員と、5人に増えた女性議員、初議会で町にどんな視点で何を伝えたかが見所です。この3年間制限を受けてきた感染症も、5月8日から「5類」に変更されました。町のイベントも一気に動き始め活気を感じています。議員の活動も増え、スケジュール帳が真っ黒に埋まり驚いています。町民の皆さまとふれあい、声を聞く機会が楽しみです。今回から広報委員会メンバーも新しくなり、全員が新人議員です! 議会をわかりやすくお伝えできるよう努めてまいりますので、ご意見等お寄せくださいね。
(中野友美)

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

議会事務局 電話 0265-79-3187(直)
gikai@town.minowa.lg.jp

【議会広報特別委員会】
中野 友美 (委員長) 白鳥 真吾 (副委員長)
南 朋子 平出 広志 小口 智世